



# JTC1409 A/C クリーニングシステム

## 使用前の注意事項

この度は、A/C クリーニングシステムをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

このA/C クリーニングシステムは、A/C システム、ホース等を洗浄する事を目的に開発されたプロフェッショナル用の装置です。

操作や機能を正しくご理解いただくため取扱説明書を必ずお読みになり、重要な警告・注意事項及び取扱方法について十分に理解された上で正しくご使用ください。

これは、身体上に重大な障害を及ぼしたり、火災・爆発などの災害を未然に防止する上でも重要です。

また、取扱説明書や装置に貼付してあるラベルに記載されている以外の使用法をされた場合や、必要なメンテナンスを行われなかった場合は、それが原因で故障等を起こしても保証の対象となりませんので十分にご注意ください。この取扱説明書は、必要に応じてすぐに取り出して参照できる場所に大切に保管してください。

ご使用前に製品の破損や欠品がないことを確認してください。

万一、破損や欠品がございましたら、ご面倒でも購入先、あるいは弊社までご連絡くださるようお願いいたします。

労働災害を発生させずに安全な作業をするため、次の注意事項及び取扱方法をよく理解して必ずお守りください。

## 身体上の危険

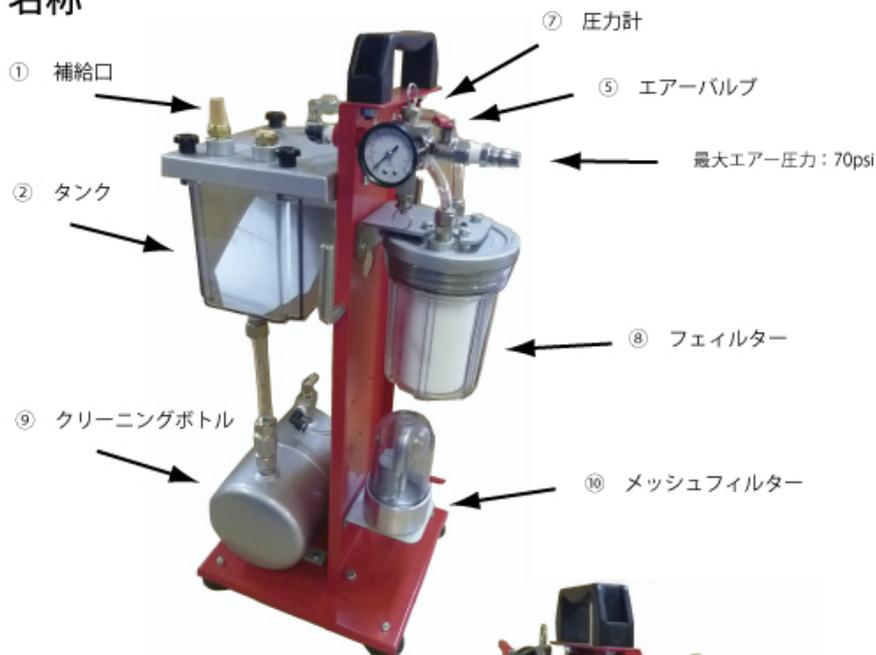
1. 作業中は、洗浄剤が体に付着したり、洗浄剤を吸い込んだりすることがあります。  
常に適切な服装で、防護眼鏡・マスク及び手袋などの保護具を着用し、事故を防止してください。
2. 洗浄液の圧送経路上で液漏れが発生した場合、直ちに、供給空気を遮断し、作動を止めてください。
3. 換気の不十分な狭い場所での作業は、有機溶剤中毒を起こす可能性がありますので、必ず換気の良い場所で使用してください。
4. 作業中、身体に異常を感じたら直ちに使用をやめ、医師による診断及び治療を受けてください。

## 爆発や火災の危険

1. 火気のある場所、またはスパークが発生する可能性がある場所は、非常に危険ですから近くでは絶対に使用しないでください。  
●タバコなどの裸火 ●ストーブ・ヒーターなどの電化製品  
●ドリル・サンダー及びグラインダー等の工具類
2. 換気の不十分な狭い場所での作業は、飛散した溶剤のミストなどに引火する可能性があり、非常に危険ですから、換気の良い場所で使用してください。
3. 作業終了後は、洗浄室内の洗浄液が全て洗浄液容器に回収されているのを確認して、  
洗浄室下のドレイン・バルブのハンドルを水平位置にして閉めてください。
4. 浄液の容器は、専用のフタをして安全な場所に保管してください。

輸入販売元  
有限会社ラグナ  
山口県周南市南浦山町5-40  
TEL 0834-22-7500  
FAX 0834-22-7600

名称



汎用アダプター





※ご使用時は必ず換気の良い場所で火気厳禁でご使用ください。  
高温になる場所や密室では絶対に使用しないでください。  
エアコンシステムの各パーツ単体の洗浄用です。  
洗浄後には、Oリングなど消耗品は必ず交換してください。

※ エキスパンションバルブ・レシーバータンクは外して作業してください。

## ホースの接続方法

赤ホースは⑨クリーニングボトルに接続します。

青ホースは⑧フィルターに接続します。



## 洗浄液



JTC1409B



1. 別売の JTC1409B 洗浄液をタンクの①補給口を開け付属のジョーゴを使用して 普通車で 1L 入れます。汚れのひどい場合は追加してください。

2. 洗浄する部品の高圧側に赤ホース  
低圧側に青ホースを接続します。



## ※ 注意

コンデンサーなど 汎用アダプターで接続できない場合は別売の専用アダプターをご使用下さい。

専用アダプターにつきましては工具辞典をご参照ください。

4. 本体の⑤エアークラパーと⑬リターンバルブのcockを閉じた状態にしてエアコンプレッサーからのエアホースをクラパーに接続します。



5. ⑬リターバルブのcockを開きます。

⑤エアークラパーのバルブをゆっくり開きます。圧力計が上昇します。エアが溜まったら(カチと音がします) ⑤エアークラパーのバルブを閉じると洗浄が始まります

⑬のバルブの開閉で噴出圧力の調整ができます。

接続部や洗浄する部品から洗浄液が漏れ出していないか確認してください。

漏れている場合は直ちに使用を中止して本体からエアを外して圧力を抜いてください。

6.1 回のエアーのエアー充填で1回循環して止まります。

⑫のタンクから⑨クリーニングボトルに洗浄液が移動したの確認後 ⑤のエアーバルブをゆっくり開きます。

この作業をタンクにもどる洗浄液がきれいになるまで続けます。洗浄液は時間とともに気化しますので、汚れのひどい場合は補充してください。

## 7. クリーニング終了後洗浄液の排出

③排出バルブの赤ホースを廃液を入れるタンクにいれます。⑤エアーバルブをゆっくり開けて排出します。(飛び散る事前提にバルブをゆっくり開けてください)

## 8. システム内の乾燥

洗浄液回収後、赤ホースを再接続して空気の圧力を利用してシステム内で乾燥させます。

⑤エアーバルブを開き カチと音がしたら自動的にエアーが循環します。

再び洗浄液の排出の作業を行い 洗浄が無くなるまで繰り返し作業してください。

簡単にシステム内の乾燥作業を行うために

除湿機付エアーガン JTC5309 Sをご用意しております。

使用方法は洗浄する部品の赤ホースのみ外して エアーを吹込みます

汚れた洗浄液は洗浄機本体に回収されます。



## メンテナンス

毎回、作業終了後に⑩メッシュフィルターは清掃してください。

⑧フィルターは定期的に交換をお勧めします。目詰まりの状態で使用しますと作業効率が下がります。

## 作業のヒント！

P F Cコンデンサーは、最初 高圧と低圧を入れ替えて低圧側より洗浄液を流してしてください。その後 通常洗浄した方が効率が上がります。